

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 保育内容の理解と方法 I Understanding and Methods of Nursing Contents I | | | ナンバリング No. | K1-012 | | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 久保田 隆範 | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | 本館2階研究室か、メールで対応する。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(保育士養成課程履修学生は必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2、DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と 到達目標 | <p>多くの時間を幼稚園や保育園で過ごす園児にとって、園生活の中に「運動遊び」を取り入れることは、体力向上につながる大きな要因となる。幼児の運動能力向上のためには「楽しく」「安全に」「より効果的」であることに着目しなければならない。また運動遊びの目的は体力向上に留まらず、社会性や協調性などを身に付けさせることにも期待される。この講義では、まず受講者自身が身体活動の楽しさを知り、園児に対してこれらの要素を実践できる、技能の習得を図る。</p> <p>① 年少中長児ごとの運動発達を知り、その年齢に応じた適切な運動遊びの理解や、運動レベルの設定ができるようにする。</p> <p>② 自分を保育者または指導者の立場に置き換え、受講者が楽しいと思えるような授業を作り上げることができるようにする。</p> <p>③ 保育者として、園児に多種多様な運動遊び種目を提供するのみならず、自分自身が正確にその見本を示せることができるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | グループワークを中心とし、様々な運動あそびを実践していく。また、学生同士による模擬指導(指導者と園児役になる)、保育現場での運動遊び指導の事例報告等を行う。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 園児に身体を動かすことの楽しさを伝えることができる。 | | | | | |
| | L03 | 園児の加齢に伴う運動の発達発達に応じた、運動遊び指導のプログラムを構成することができる。又、園児が安全に運動遊びを行えるような、環境整備をすることができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対する フィードバック | 発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/ 参考図書 | 教科書:幼児期運動指針ガイドブック(文部科学省) 参考図書:①遊びを中心とした保育—保育記録から読み解く「援助」と「展開」(萌文書林)、②子どもの運動遊びバイブル:ここに笑顔で楽しみながら運動の力も伸びてゆく!(みらい) | | | | | | |
| 履修上の留意点 やルール等 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動がしやすい服装(ジャージ等)で参加すること ・指輪、ピアス等の装飾品は授業前にとること ・保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語、居眠り、授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回45分相当とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務 経験 | ●実務経験(職種:プレイリーダー・研修講師 職歴:6年) 実践現場での多様な経験を、運動あそびの指導方法論の際に活かす。 | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 主体性を持って授業に臨むこと。事前準備や片付けなどは協調性を持ち、学生主体で行う。 | | 30 | | |
| レポート/作品 | 授業ポートフォリオの提出を求める。授業の記録を丁寧かつ十分に取れていることと、自身の考察が書かれていること。 | | 30 | | |
| 発表 | 幼児向け創作ダンスの発表による評価。また、グループとして十分にコミュニケーションを取りながら推進できているかも評価基準とする。 | | | 40 | |
| 小テスト | | | | | |

| | | | | |
|-----|--|--|----|----|
| 試験 | | | | |
| その他 | | | | |
| 合計 | | | 60 | 40 |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(受講にあたっての服装や態度と注意点、授業内容の確認、成績評価方法) |
| | 事前・事後学習 | 事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。 |
| 2 | 授業内容 | 運動遊びの大切さと保育者の役割について |
| | 事前・事後学習 | 運動遊びが子どもにとってなぜ大切かについて調べてまとめる。 |
| 3 | 授業内容 | からだほぐしの運動遊び |
| | 事前・事後学習 | 各園や小学校等で、導入として行われているからだほぐしの遊びについて調べてまとめる。 |
| 4 | 授業内容 | リズムを用いた運動遊び 模倣遊び |
| | 事前・事後学習 | リズムを用いた運動遊び 模倣遊びについて調べてまとめる。 |
| 5 | 授業内容 | 伝承遊び① 多様な動作を用いる遊び |
| | 事前・事後学習 | 伝承遊びの中でも多様な動作を用いる遊びについて調べてまとめる。 |
| 6 | 授業内容 | 伝承遊び② コミュニケーションを必要とする遊び |
| | 事前・事後学習 | 伝承遊びの中でもコミュニケーションを多く用いる遊びについて調べてまとめる。 |
| 7 | 授業内容 | 遊具や道具を用いた運動遊び① ボールを用いた遊び |
| | 事前・事後学習 | ボールを用いる遊びについて調べてまとめる。 |
| 8 | 授業内容 | 遊具や道具を用いた運動遊び② 縄を用いた遊び |
| | 事前・事後学習 | 縄を用いる遊びについて調べてまとめる。 |
| 9 | 授業内容 | 遊具や道具を用いた運動遊び③ フープを用いた遊び |
| | 事前・事後学習 | フープを用いる遊びについて調べてまとめる。 |
| 10 | 授業内容 | 遊具や道具を用いた運動遊び④ バルーンを用いた遊び |
| | 事前・事後学習 | パラバルーンの遊び方について調べてまとめる。 |
| 11 | 授業内容 | 総合的な身体表現活動の創作① グループディスカッションによる考案 アイディアプラン作成 |
| | 事前・事後学習 | 事前に対象年齢の設定をし、その年齢における身体的特徴等を整理しまとめる。 |
| 12 | 授業内容 | 総合的な身体表現活動の創作② 準備 |
| | 事前・事後学習 | 保育現場での実践を想定し、必要備品の選定と準備をする。 |
| 13 | 授業内容 | 総合的な身体表現活動の創作③ 練習 |
| | 事前・事後学習 | 取り入れる動作が発達段階に適しているか、子ども達が興味を持てるものになっているかなどを検討し、ブラッシュアップする。 |
| 14 | 授業内容 | 創作内容の発表と振り返り |
| | 事前・事後学習 | 事前にシミュレーションを行う。事後は他グループの発表からの参考点をまとめる。 |
| 15 | 授業内容 | 運動遊び、身体表現についての総合的考察 |
| | 事前・事後学習 | 事後に、これまでのポートフォリオをまとめて全体考察を行う。 |